

第4回地域づくり政策セミナー

未来の九州を支えるインフラ

～九州の成長を支えるプロジェクトとは～

鶴田ダム

日本最大規模のダム再開発
で洪水リスクを早期に軽減

官民連携による
大型クルーズ船の受入拠点へ

八代港

2本目の滑走路により
ゲートウェイ機能を強化

福岡空港

私たちの暮らしや経済を支える道路、港湾、空港、ダムなどのインフラ。

これまでに蓄積されたこれらのインフラは多くの場面で九州の活力づくりに貢献してきました。

しかし、インフラ整備はまだ十分とは言えず、多くの既存インフラは高度経済成長期に造られ、老朽化が進行しています。

一方で、人口が減少し高齢化も進む中、九州の未来を支えるインフラを守り・生み出し・育てる道筋は準備されているでしょうか。

本セミナーでは、九州の活力をさらに高めるため、ストックされたインフラの活用と今後の持続ある成長を支えるために必要なプロジェクトについて、様々な分野の方々に多面的な知見を紹介いただきます。

日時

平成30年2月22日[木] 13:30~17:30 (開場 12:30)

会場

電気ビル共創館 4F 電気ビルみらいホール

内容

挨拶 13:30

【開会挨拶】(一社)九州地域づくり協会 理事長 佐竹 芳郎

【来賓挨拶】国土交通省 九州地方整備局長 増田 博行 氏

話題提供 13:40~14:20

◆「プロジェクト九州」パイオニアたちの情熱 元西日本新聞社副社長 玉川 孝道 氏

パネルディスカッション 14:30~15:50

◆ これからの九州に必要なもの

【コーディネーター】九州大学大学院工学研究院 教授

塚原 健一 氏

【パネリスト】LOCAL&DESIGN(株) 代表取締役

高山 美佳 氏

※五十音順

田中 俊憲 氏

FBS福岡放送 報道部 ニュースデスク

藤井 学 氏

(公財)九州経済調査協会 調査研究部 次長

藤巻 浩之 氏

国土交通省 九州地方整備局 企画部長

特別講演 16:00~17:30

◆ インフラ概念を欠く日本の悲劇
—転落からの回復は可能なのか—

第105代 土木学会会長 大石 久和 氏

◆主催/一般社団法人 九州地域づくり協会 ◆後援(予定)/国土交通省 九州地方整備局、一般社団法人 九州経済連合会、
九州商工会議所連合会、公益財団法人 九州経済調査協会



CPDプログラム 3.7単位

申込書

※こちらの申込書から、FAXでも申し込みいただけます。

会社名			
電話番号			
No	お名前(ふりがな)	所属	役職等

申込先:一般社団法人 九州地域づくり協会

FAX 092-481-3785

申込

(1)ホームページからお申し込み

<http://www.qscpua.or.jp/kouenkai20180222>

(2)FAXによるお申し込み

申込書にご記入の上、お送り下さい。定員に達し次第、締切ります。

問い合わせ先

(一社)九州地域づくり協会 企画部企画課

福岡市博多区博多駅東2-5-19

TEL 092-476-5680 FAX 092-481-3785

